

第1回

日本膝関節学会学術集会 スポンサードシンポジウム

『TKAフォーラム』

日時 2023年12月9日(土) 13:20~16:30 会場 パシフィコ横浜ノース『第1会場』

テーマ

「そろそろしっかり考えよう!インプラントデザインと軟部組織バランスの関係性」

昨年の第22回TKAフォーラムをもって、これまでの形態でのTKAフォーラムは発展的解消の運びとなりました。しかし、この会は学会とは一味違う切り口で深くTKAを語る貴重な機会であったため、是非残したいという声も多く、第1回日本膝関節学会会長 岡崎賢先生のご厚意のもと、特別セッションの形で見事に“REBORN”を果たしました。生まれ変わったTKAフォーラムをこれまで同様に自由で、そしてこれまで以上に有意義なものにするために鋭意準備してまいりました。

前半のシンポジウムは、セッションタイトルを「そろそろしっかり考えよう!インプラントデザインと軟部組織バランスの関係性」としました。TKAの手技における最重要因子の一つとして適切な軟部組織バランスの獲得が挙げられますが、目標とする軟部組織バランスに関する従来のgold standardは、いわゆる内外側が同じ幅の長方形ギャップであり、その大きさも伸展・屈曲で同一であることが長い間推奨されてきました。しかし、近年は生理的な膝の軟部組織バランスを論拠として、内側での安定性を優先する考え方も提唱されており、それをサポートする多くのエビデンスが報告されています。

一方で、現在TKAインプラントのデザインは多岐にわたっており、それぞれに開発のコンセプトが存在しますが、**どのインプラントデザインに対してどのような軟部組織バランスが最良なのか?**異なるコンセプトに基づいた様々なデザインがある中で、**目標とする軟部組織バランスは画一的で良いのか?**という疑問に対する明確な回答は得られていません。もし、それぞれのインプラントデザインに適した目標軟部組織バランスが存在するのであれば、それを獲得するべく術中の軟部組織バランスを整える必要があります。

そこで今回のシンポジウムでは、代表的な機種の使用手の先生方に、各々の機種において**術中測定した軟部組織バランスと術後臨床成績との関係性**を検討して頂き、上記の未解決問題に迫ります。

後半は恒例の“**What would you do?**”です。今回は2名の先生方から、ある共通点を持ったそれぞれ異なるタフケースを提示して頂きます。同じカテゴリーのケースでありながら、異なる治療戦略、問題点などを示して頂くことで多くの学びがあるものと期待しております。また、知識も経験も、そしてアイデアも豊富な3名のディスカッサーの先生方に十分掘り下げていただきたいと思います。更に、今年は学会の1セッションという利点を活かして、海外からお招きした先生にも指定質問をして頂くことになっており、とても楽しみにしております。生まれ変わったTKAフォーラムで、多くの先生方に熱いディスカッションを展開して頂きたいと祈っております。



当番幹事
新潟医療センター
佐藤 卓

幹事:大森 豪 岡崎 賢 格谷 義徳 小林 正明 佐藤 卓 富田 哲也 長嶺 隆二 二木 康夫 早川 和恵 福島 重宣 堀内 博志
松田 秀一 眞島 任史 箕田 行秀 村津 裕嗣
顧問:赤木 将男 秋月 章 王寺 享弘 金粕 浩一 勝呂 徹 高井 信明 鳥巢 岳彦 中川 研二 星野 明穂 守屋 秀繁 山本 純己
龍 順之助 三浦 裕正 津村 弘



Program

日時 2023年12月9日(土) 13:20~16:30

会場 パシフィコ横浜ノース『第1会場 (1F G1+G2)』

13:20~13:25 ▶ **当番幹事の挨拶** 当番幹事 佐藤 卓(新潟医療センター 整形外科)

13:25~15:10

セッションI

そろそろしっかり考えよう!インプラントデザインとGAPバランスの関係

Moderator 佐藤 卓(新潟医療センター整形外科) / 中川 滋(阪和記念病院 整形外科)

[総合討論(40分)]

1. CR TKAにおける術中軟部組織バランスが術後臨床成績に及ぼす影響
..... 松本 知之(神戸大学医学部 整形外科)

2. Fixed-bearing PS TKAのGapバランスと術後患者立脚型スコアの関係
..... 上山 秀樹(大阪労災病院 整形外科)

3. Bi-Cruciate Stabilized TKAにおけるGAPバランスと臨床成績
..... 龍 啓之助(福島県立医科大学 整形外科)

4. サドル型インサートを持つCSモバイルTKAの術中Gapと臨床成績の関係
..... 伊藤 匡史(東京女子医科大学 整形外科)

5. Medial Pivot型TKAにおける術中ギャップ値と臨床成績の関係性
..... 勝見 亮太(新潟医療センター 整形外科)

15:10~15:20 ▶ **休憩(10分)**

15:20~16:20

セッションII

What would you do ?

Moderator 下条 竜一(富山大学 整形外科) / 二木 康夫(藤田医科大学東京 先端医療研究センター)

Presenter

..... 1) 中川 滋(阪和記念病院 整形外科), 2) 畑山 和久(群馬中央病院 整形外科)

Discussor

..... 1) 西池 修(釧路三慈会病院内視鏡・人工関節センター), 2) 中村 卓司(東邦大学医療センター大森病院 整形外科), 3) 星野 明穂(川口工業総合病院)

指定質問

..... Charles Riviere(Imperial College London)

16:20~16:25 ▶ **閉会の辞** 当番幹事 佐藤 卓(新潟医療センター 整形外科)

16:25~16:30 ▶ **次回チェアマン挨拶** 早川 和恵(藤田医科大学 整形外科)